

展示スペースお安く貸します

都民版

都内版編集室
千代田区大手町
1の7の1
読光新聞社内
〒100-8055
電話 (3217)4655
FAX (3217)4658
都民版広告
5226-3655
購読申し込み
フリーダイヤル
0120-0000-81

ハクソウ

毎日摂れる
スタミナ薬



宝仙堂
0120-08-3741

USO放送

本日が元祖競艇
緊急安売を招集した
国連
(常坊)

空き店舗をギャラリーに

自宅隣 開設記念し自ら個展

新宿の井坂さん

趣味で写真を撮りつづけている新宿区高田馬場三に在住の七十八歳の主婦、井坂君代さんが、手軽に個展を開けるスペースを提供しようと、自宅隣にギャラリーを開設し、オープン記念に自らの写真展を開いている。「せっかく撮った写真は、人にみてもらいたいもの。どんどん利用してもらいたい」と話している。



自ら開いたギャラリーで、個展を開いている井坂さん

井坂さんは五十代になつて、時間に余裕ができたのをきっかけに、以前から興味を持っていた写真を始めた。週に五枚の写真を提出して、先生に講評してもらうという本格的な教室に入り、近所を歩き回るだけでなく、各地の祭り、動物園、時には海外の撮影旅行にも出掛け、写真を取りためてきた。

しかし、個展やグループ展を開こうとすると、場所によっては、ギャラリーを借りるのに、一日十万円もかかったり、予約が二、三年も先まで埋まっていたりと、様々なハードルがあるのが現状。「写真教室はた

くさんあって、愛好者も少なくないのに、作品を人に見てもらう機会のない人の方が多いいのでは」と思っていた。

昨年七月、自宅隣に所有する店舗にあった美容院が閉店。その後、新たなテナントも決まらず、空き店舗になったため、井坂さんは家族と相談し、念願のギャラリーを、自らの手で開くことにした。

展示用のパネルなど内装を整え、今月二十三日にオ

昨年七月、自宅隣に所有する店舗にあった美容院が閉店。その後、新たなテナントも決まらず、空き店舗になったため、井坂さんは家族と相談し、念願のギャラリーを、自らの手で開くことにした。

展示用のパネルなど内装を整え、今月二十三日にオ

「よさこい踊り」の名前は、動物園の「よさこい」の子供、舞の「子」を合わせた、井坂さん自身が撮りためた写真三十数点が並び、四日まで行われる。井坂さんは「古希のお祝いに、子供たちが個展をプレゼントするなんてふつうに、気軽に使ってほしい」と話している。

問い合わせはギャラリー「そらま」☎33667・8566。



見事な大輪のサツキの鉢植えを楽しむ来場者たち

よさこい踊りの
出場チーム募集
世田谷 鳥山駅前商店街
世田谷区の京王千歳鳥山駅周辺の鳥山駅前通り商店街は、八月三日に開く「からす山夏まつり盆踊り大会」のメインイベント「よさこい踊りコンテスト」の出場チームを募集している。

同商店街振興組合(桑島俊彦理事長)では、毎年盆踊り大会を開いているが、「今ひとつ元気がない」「若い人のパワーが欲しい」などと声が寄せられ、昨年、札幌市で大規模なコンテストが開かれ話題になった「よさこい踊り」を行うことにした。

一チーム十人以上で、衣装は自由。チームワークやリズム感などを競い合う。優勝チームには三十万円、準優勝チームに二十万円を贈る。しかし、四月下旬か